

～見積用参考資料の集計リスト（材料）に関する留意事項について～

見積用参考資料の集計リスト（材料）では、施工パッケージ型積算で使用している材料の数量は、次のとおり算出しています。

集計リスト（材料）＝標準単価 × 材料構成比 × (1/基準単価) × 数量（小数第 4 位を四捨五入）

- ・標準単価：東京地区における施工単位当たりの単価
- ・材料構成比：標準単価における代表材料規格構成比
- ・基準単価：東京地区における代表材料規格基準単価

こうしたことから、施工パッケージ型積算で使用している材料の数量は参考扱いとし、実数量については設計図書等で確認してください。

なお、下記材料の基準単価は、仕上り厚等考慮した金額になっていることから留意してください。

- ・アスファルト混合物、再生アスファルト混合物
- ・連結金具（根固めブロック用）
- ・セメント系固化剤（一般軟弱土用）
- ・アスファルト安定処理
- ・クラッシャーラン、再生クラッシャーラン（骨材）
- ・半たわみ性舗装用セメントミルク

黒字で記載の箇所は、現時点での取り扱いであり、赤字箇所は、平成 30 年 10 月 1 日以降に追加のうえ適用となる。

例 アスファルト混合物の集計リストの数量算出例

- ・施工パッケージ名称：表層（車道・路肩部）
- ・条件区分：平均仕上がり厚 50mm、各種（2.3 以上 2.4t/m³未満）
タックコート PK4、平均幅員 1.4m 以上、A=100 m²
- ・標準単価：1,564.6 円

$$1,564.6 \text{ 円} \times 0.8444 \times (1 / 525,000 \text{ 円}) \times 100 \text{ m}^2 = 0.252 \text{ t}$$

（標準単価） （材料構成比） （基準単価） （数量）

基準単価の 525,000 円は、平均仕上り厚 50mm を考慮した金額。

集計リスト（材料）

工事名		○○○工事		当初		工事区分		道路	
コード	名称			単位	数量	集計区分	材料	単価	
ZBD0800000	再生細粒度アスファルト混合物	As量7.5～9.5% 配合率50% 道用		車 t				0.252	

上記については、8月10日付けで建設管理課のホームページに掲載済みです。

【今回追加事項】

施工パッケージ型積算で使用している下記材料は、集計リストでは 参考例 にあるように表記されますが、単位については「個」を「m」に読み替えてください。

- ・鉄筋コンクリート台付管（ 250 ～ 1500 ）
- ・鉄筋コンクリート高压管（ 1種、2種、3種管共に 250 ～ 1500 ）
- ・誘導縁石、導水縁石、舗装止縁石、車道用縁石（ ～ 型）

参考例 鉄筋コンクリート高压管の場合

- ・施工パッケージ名称：鉄筋コンクリート高压管
- ・条 件 区 分：据付、 300mm、2m/個、機械費・労務費・材料費全ての費用
- ・標 準 単 価：11,209 円

$$11,209.0 \text{ 円} \times 0.6695 \times (1 / 7,500 \text{ 円}) \times 52 \text{ m} = 52.031 \text{ m}$$

（標準単価） （材料構成比） （基準単価） （数量）

1 個当り 2 m の単価

集計リスト（材料）

工事名	当 初	工事区分		単 位	数 量	単 価	金 額
		集計区分					
名 称	規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	
鉄筋コンクリート高压管	1種管 φ 300mm 2000mm/本 参考質量 357kg/本		個 m	52.031			